

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	現在の、3ユニットの理念が具体的な内容でないため、振り返りがしにくくなっている。グループホームの事業計画に挙げている、「夢を叶えよう企画」を取り入れ、職員全員が理念に向かって日々取り組めるようにしていく必要がある。	3ユニットが、新たな理念を掲げ、毎日、理念を思い出しながら、ご利用者によりよいケアが出来るようにしていく。	・各ユニットミーティングで、BS法を用いてユニット職員全員で理念を完成させる。 (「夢を叶えよう企画」の実現を含め、ユニット全員が、覚えやすくご利用者がより良く生活できるような理念にする。)	2ヶ月 (1月までには3ユニット完成させる。)
2	6	具体的な身体拘束についての、新人教育がなされていなかった。外部研修に行った職員が、研修報告として行っていたが、中身の詳しい内容について研修を行えていなかった。	新人を含めた、身体拘束の研修を行い、特に言葉での抑制についても学んでもらい、日々の声掛けの振り返り、又は改善につなげていく。	・ユニットミーティングにて、身体拘束の研修を行い、その際自分たちが行っている現在のケア(声掛け、対応等)振り返ってもらう。一人一人が日々のケアを振り返り、間違いに気づくことで、改善につなげていく。	1ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。